

2008年3月期 第3四半期決算説明資料



ヴァンキュラム ジャパン株式会社

JASDAQ

Listed Company 3784

目 次

●経営トピックス

●営業トピックス

●決算の状況【連結】

1. 業績の概況
2. 顧客別の売上高構成比推移
3. セグメント別の状況
4. 業績の変動要因
5. 財政状態
6. キャッシュ・フローの状況
7. 主要な経営指標の状況

参考 決算の状況【個別】

1. 業績の概況
2. 事業別の状況

●業績予想

1. 業績予想【連結】
2. セグメント別の予想【連結】
3. 業績予想【個別】(参考)
4. 事業別の予想【個別】(参考)

●今後の事業展開について

経営トピックス

- 1991年 2月 : 株式会社マイカル 情報システム部が分離独立、情報システム子会社として株式会社マイカルシステムズを設立
- 1992年 4月 : システム運用パッケージ「AUTO/400」の発売を開始
- 1997年 7月 : オープンPOSパッケージ「ANY-CUBE」の発売を開始
- 2000年11月 : プライバシーマークの認定を取得
- 2002年 3月 : 富士ソフト株式会社の100%出資子会社となり、商号をヴィンキュラム ジャパン株式会社に変更
- 2003年 4月 : 顧客管理パッケージ「Satisfia」の発売を開始
電子商談(調達)のサービスを開始
- 2005年 3月 : ISMSの認証を取得
- 2005年12月 : ジャスダック証券取引所に上場
- 2006年 4月 : 商品管理パッケージ「MDware」の発売を開始
- 2006年 5月 : 社内ベンチャー制度による子会社「株式会社4U Applications」設立
- 2006年 6月 : CMMIレベル3を達成(ストアシステム開発領域)
- 2006年 8月 : アパレル(小売業)向け価格最適化ソリューション「Optiboard(オプティボード)」の発売を開始
- 2007年 3月 : 中期経営計画(2007-2009)を発表
- 2007年 4月 : MIJS(メイドインジャパンソフトウェアコンソーシアム)に加盟
- 2007年10月 : アジェントリクスと戦略的業務提携
「次世代プロダクト開発室」の新設
- 2007年11月 : 第2回 MIJSカンファレンス「Japan」に出展

リテールテックジャパン2008に出展

「リテールテック JAPAN 2008」

<2008年3月4日(火)~7日(金)>

リテールテック JAPAN 2008 弊社出展ブース

出展展示会

:「第24回流通情報システム総合展
(リテールテックJAPAN2008)」

開催日

:2008年3月4日(火)~7日(金)
10:00~17:00(最終日のみ16:30終了)

場所

:東京国際展示場(東京ビッグサイト) 東1、2ホール

出展ブース番号

:東1ホール T-20-2(富士ソフト/ヴィンキュラム ジャパン
/ 富士ソフトディーアイエス小間出展)

展示内容

- :新製品『ANY-CUBE NEW ST』の製品展示と
デモンストレーション
- :次世代プロダクトの開発構想
- :当社製品の導入実績と導入効果



営業トピックス

◆主要顧客向け新規運用・保守案件 スタート・順調に稼働

第2四半期

- 最大手総合小売業グループ向け 給与システムアウトソーシング
- 最大手ドラッグストア向け POSセンターサーバーアウトソーシング
- 最大手シネコン向け 劇場システム保守

第3四半期

- 最大手総合小売業グループ向け EDI案件受注

◆流通業の人手不足に対するソリューション順調に推移

1. 流通業向けMD基幹システム「MDware」 自動発注

第3四半期

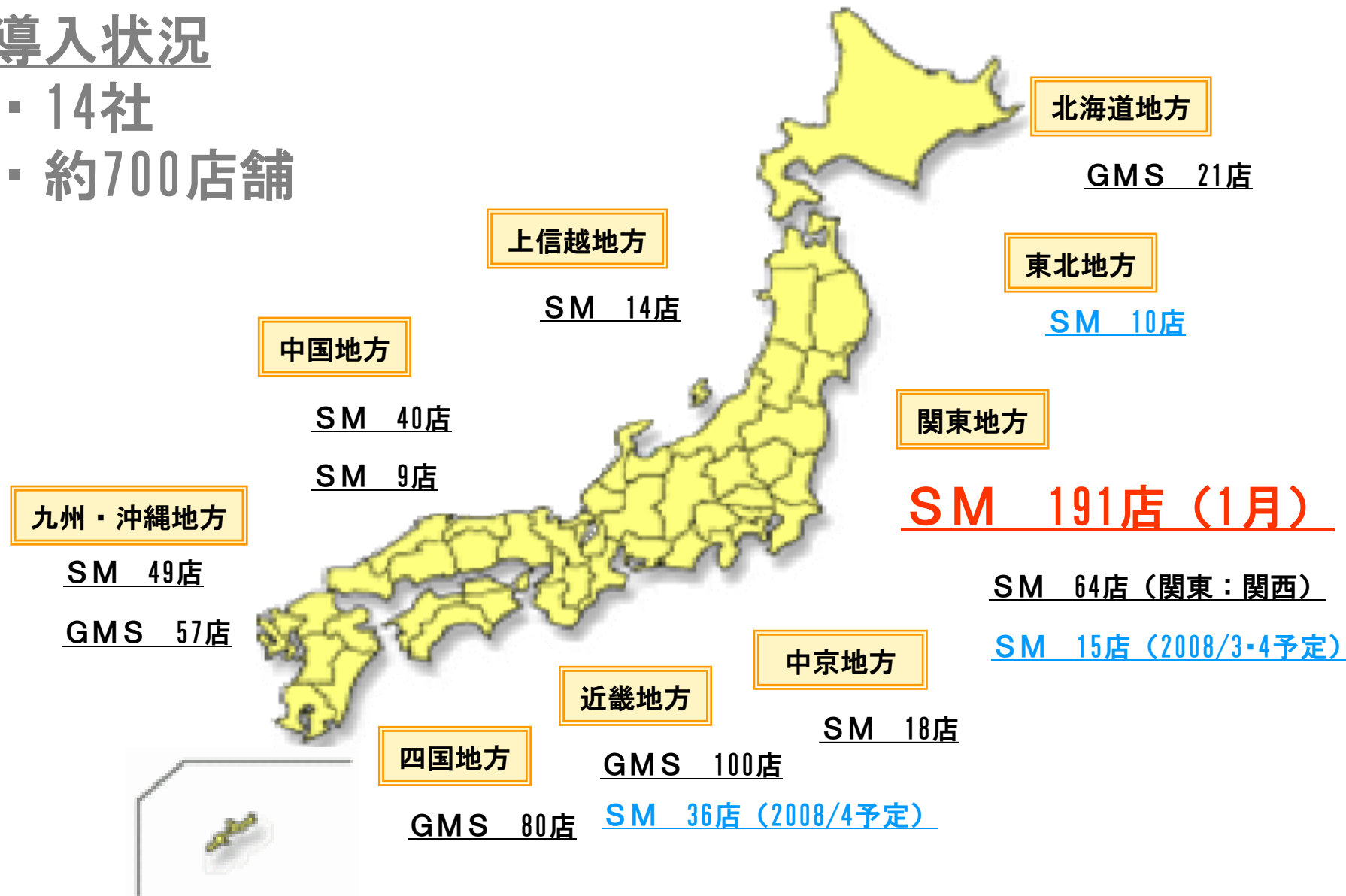
- 首都圏大手食品スーパー 導入展開
- 最大手小売業グループ食品スーパー 受注
- 関西大手スーパー 受注
- 最大手ドラッグストアグループ 内示



参考：「M D ware」自動発注導入状況

導入状況

- ・ 14社
- ・ 約700店舗



参考：自動発注導入効果検証事例

【発注作業時間】

店舗	導入前	導入 3ヶ月後	変化
A	39.5	16.5	▲58.2%
B	31.0	18.0	▲41.9 %
C	27.0	16.5	▲38.9 %
D	20.0	12.3	▲38.5 %
E	50.0	34.0	▲32.0 %
F	17.5	12.1	▲30.9 %
G	21.0	15.0	▲28.6 %
H	17.0	15.0	▲11.8 %
I	21.3	20.1	▲5.6 %
合計	244.3	159.5	▲34.7 %

- 加工食品・菓子・酒・日雑の1週間の合計(週3回発注)
- 舗の状況によりばらつきがあるが、平均で30%以上削減

【品切れ状況】

店舗	導入前	導入 3ヶ月後	変化
A	58	12	▲79%
B	77	29	▲62%
C	59	24	▲59%
D	71	58	▲18%
E	34	30	▲12%
F	101	114	13%
G	42	49	17%
H	48	63	31%
I	19	32	68%
合計	509	411	▲19%

- 日曜夕方または月曜午前中に調査
- 加工食品・菓子・酒の合計

営業トピックス

2. セルフチェックアウトシステム

第3四半期

- 北陸ドラッグストア ゲンキー様 導入展開
- 大手総合小売業グループ 導入展開

◆POSパッケージ「ANY-CUBE」引き続き好調に推移

第2四半期

- 大手ドラッグストア、大手アパレル専門店向け等

第3四半期～

- 大手ショッピングモール向け受注
- 大手ドラッグストアグループ向け受注

◆CRMパッケージ「Satisfa」

第3四半期～

- 西日本大手GMS 次期ポイントシステム、顧客管理システム内定



ANY-CUBE[®] SC
POS for the Next Value

ANY-CUBE[®] ST
POS for the Next Value

決算の状況【連結】

1. 業績の概況【連結】

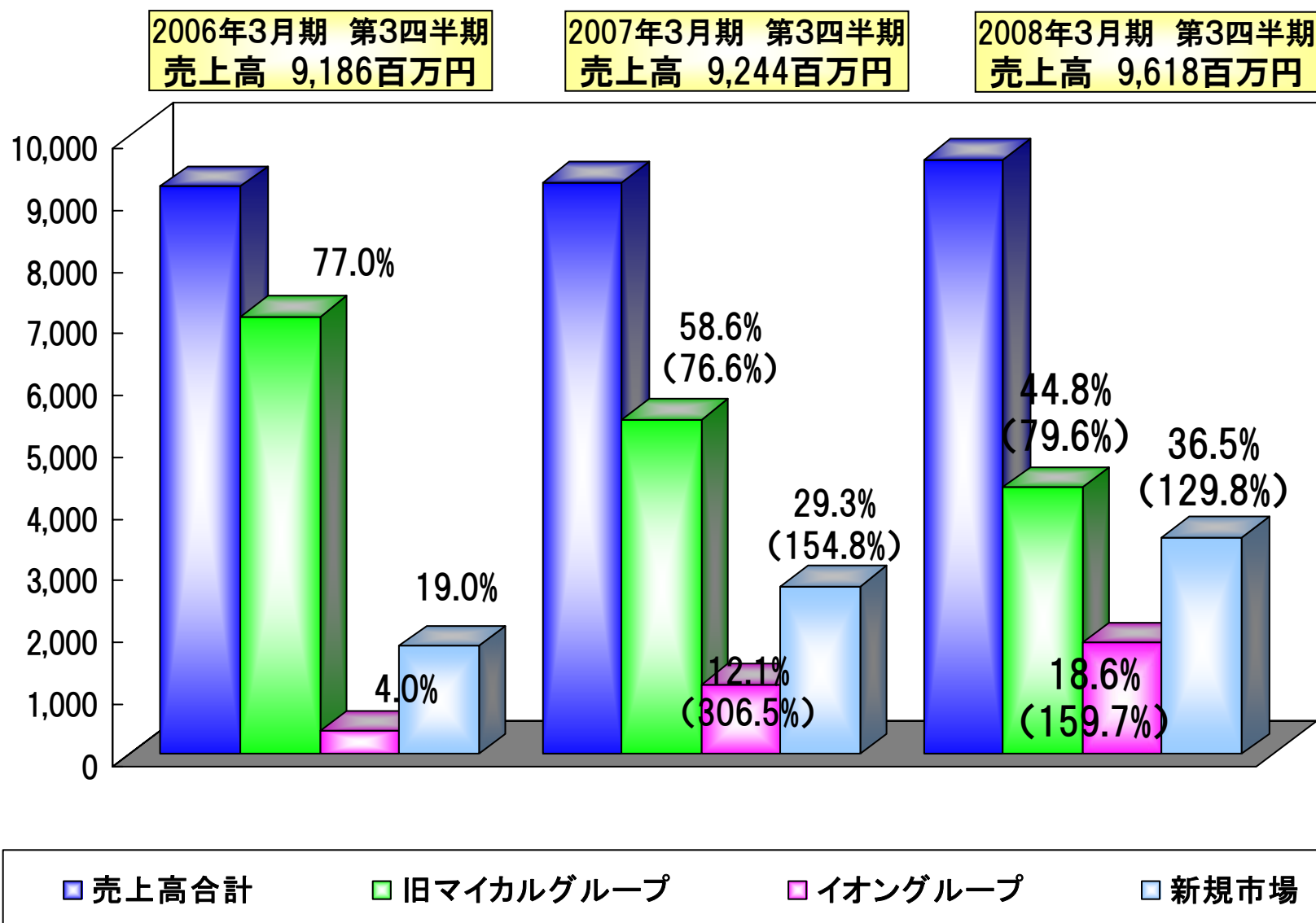
◆決算のポイント

●売上高は前年値及び計画値を上回る

●各段階利益は前年値を下回るも、ほぼ計画通りに推移

(単位:百万円, %)		2008年3月期第3四半期			2007年3月第3四半期		
		売上比	前年比	計画比		売上比	
売上高		9,618	—	104.0	102.4	9,244	—
売上総利益		1,771	18.4	94.4	98.0	1,877	20.3
営業利益		590	6.1	78.2	98.0	754	8.2
経常利益		579	6.0	81.0	98.6	715	7.7
四半期純利益		358	3.7	87.2	101.0	411	4.5
1株当たり 四半期純利益	円	11,390.88	—	87.2	—	13,070.18	—
株主資本当期純利益率 (ROE)	%	10.0	—	—	—	12.6	—

2. 顧客別の売上高構成比推移



※2006年3月期 第3四半期は、単体の数値を記載しております。

(カッコ内は売上前年比)

3. セグメント別の状況【連結】

(単位:百万円, %)

		2008年3月期 第3四半期			2007年3月期		
		※比率	前年比	計画比	第3四半期	※比率	
アウトソーシング 事業	売上高	3,793	39.5	83.2	101.7	4,561	49.4
	売上総利益	873	23.0	81.7	101.0	1,069	23.4
	営業利益	639	16.9	79.1	100.3	809	17.7
ソリューション 事業	売上高	2,215	23.0	104.7	86.0	2,116	22.9
	売上総利益	422	19.1	98.9	84.0	427	20.2
	営業利益	257	11.6	88.1	82.1	292	13.8
プロダクト事業	売上高	1,009	10.5	99.2	90.5	1,017	11.0
	売上総利益	324	32.1	283.5	98.7	114	11.2
	営業利益	190	18.8	—	100.3	△36	—
ハードウェア 販売サービス事業	売上高	1,809	18.8	189.7	137.5	954	10.3
	売上総利益	59	3.3	59.5	177.6	100	10.5
	営業利益	△19	—	—	—	48	5.1
その他事業	売上高	789	8.2	132.7	121.0	595	6.4
	売上総利益	91	11.7	55.4	116.6	166	27.9
	営業利益	48	6.2	33.4	123.4	146	24.5

※比率…売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

参考. セグメントの内容

流通・サービス業向け総合情報サービス事業の展開

アウトソーシング事業	<ul style="list-style-type: none">・ システム運用・管理サービス・ ソフトウェア保守、ヘルプデスクサービス・ ASPサービス	売上構成比 39.5%
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none">・ 流通、サービス業基幹システムの開発・ クレジットカードシステムの開発・ Webシステムの開発	売上構成比 23.0%
プロダクト事業	<ul style="list-style-type: none">・ 流通、サービス業向けパッケージの開発・販売・ システム運用管理パッケージの開発・販売	売上構成比 10.5%
ハードウェア販売 サービス事業	<ul style="list-style-type: none">・ ハードウェア等の販売	売上構成比 18.8%
その他事業	<ul style="list-style-type: none">・ 店舗システム導入展開サービス・ その他付帯サービス	売上構成比 8.2%

(売上構成比は2008年3月期 第3四半期の値)

4. 業績変動要因【連結】

◆売上高変動要因(前年比較)・・・【373百万円増加】

<増加要因>

- ①ハードウェア販売サービス事業・・・【855百万円増加】
 - ・大手流通小売業向けIT統合大型案件の受注
- ②その他事業・・・【194百万円増加】
 - ・店舗システム導入展開サービス案件の増加
 - ・主要顧客向け付帯サービス案件の増加
- ③ソリューション事業(ソフト開発)・・・【99百万円増加】
 - ・人事システム分野 大手総合小売業グループ向け案件増加(155百万円増加)
 - ・流通、サービス業向け基幹システム分野 大手ドラッグストア向け案件増加(31百万円増加)
 - ・クレジットカードシステム分野 主要顧客向け案件減少(90百万円減少)

<減少要因>

- ①アウトソーシング事業(運用、ヘルプデスク等)・・・【767百万円減少】
 - ・主要顧客向け運用業務の終了による減少(1,041百万円減少)
 - ・新規アウトソーシング案件のスタートによる増加(274百万円増加)
- ②プロダクト事業(パッケージ販売、開発)・・・【8百万円減少】
 - ・ANY-CUBE「POSパッケージ」 大型案件(大手ドラッグストア向け、ショッピングセンター向け等)による増加(193百万円増加)
 - ・Contact「EDIパッケージ」(32百万円増加)
 - ・Satisfa 前期大型案件の減少(102百万円減少)
 - ・MDシステム 前期大型案件の減少(143百万円減少)

4. 業績変動要因【連結】

◆営業利益変動要因(前年比較)・・・【164百万円減少】

<増加要因>

- ① **①プロダクト事業・・・【売上総利益 210百万円増加】**
 - ・不採算案件の減少(プロジェクトマネジメント力の強化)

<減少要因>

- ① **①アウトソーシング事業・・・【売上総利益 195百万円減少】**
 - ・主要顧客向け運用業務の終了による減少
- ② **②ハードウェア販売サービス事業・・・【売上総利益 40百万円減少】**
 - ・前期の高利益率案件の減少及び価格競争の激化等による利益率低下
- ③ **③その他事業・・・【売上総利益 74百万円減少】**
 - ・前期の高利益率案件の減少
- ④ **④販売費及び一般管理費の増加・・・【費用 58百万円増加】**
 - ・J-SOX対応等の管理体制強化による人件費等の増加
 - ・営業展開強化による人件費等の増加

5. 財政状態(前期末比較)【連結】

【貸借対照表】

(単位:百万円)

区分	2008年3月期 第3四半期末		2007年3月期 末時点
		構成比	
流動資産	5,055	79.9	4,481
固定資産	1,273	20.1	1,295
(有形固定資産)	213	3.4	221
(無形固定資産)	806	12.7	784
(投資その他の資産)	253	4.0	289
資産合計	6,328	100.0	5,777
流動負債	2,524	39.9	2,185
固定負債	108	1.7	135
負債合計	2,633	41.6	2,320
株主資本	3,695	58.4	3,457
負債・資本 合計	6,328	100.0	5,777

流動資産

- ・現預金の減少(▲385百万円)
- ・売掛金の増加(1,020百万円)

固定資産

- ・パッケージソフトウェア製品等の開発(171百万円)

流動負債

- ・買掛金の増加(747百万円)

固定負債

- ・役員退職慰労金の減少(▲25百万円)

株主資本

- ・中間純利益の計上(358百万円)
- ・利益処分による減少(▲113百万円)

6. キャッシュ・フローの状況【連結】

(単位:百万円)

税引前当期純利益	576	
減価償却費	243	
売上債権の増加額	△ 1,078	・売掛金の増加
棚卸資産の減少額	77	・大型案件の売上計上による棚卸資産減少
仕入債務の増加額	747	・買掛金の増加
その他	△222	・賞与の支払等
小計	343	
法人税等の支払額等	△ 287	
営業活動によるキャッシュ・フロー	56	
有形固定資産の取得による支出	△ 49	
無形固定資産の取得による支出	△ 271	・パッケージソフトウェア製品の開発等
その他	△ 10	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 331	
配当金の支払額	△ 110	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 110	
現金及び現金同等物期首残高	1,909	
現金及び現金同等物期末残高	1,524	

7. 主要な経営指標の状況【連結】

当社の目標とする経営指標

- ・株主資本比率 50%以上の維持
- ・(ROA)総資産経常利益率 20%以上(通期)

	単 位	2006年3月期 第3四半期	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期 第3四半期
株主資本比率	%	51.1	62.3	58.4
ROA(総資産経常利益率)	%	13.2	12.0	9.6
(売上高経常利益率)	%	7.9	7.7	6.0
(総資産回転率)	回転	1.68	1.55	1.59
ROE(株主資本当期純利益率)	%	18.9	12.6	10.0
流動比率	%	156.0	213.8	200.2
当座比率	%	137.7	172.4	171.1
固定比率	%	40.4	39.5	34.5
借入金依存度	%	2.1	0.5	—

※2006年3月期 第3四半期は、単体の数値を記載しております。

参 考 決算の状況【個別】

1. 業績の概況【個別】（参考）

(単位:百万円, %)		2008年3月期第3四半期			2007年3月期第3四半期		
		売上比	前年比	計画比		売上比	
売上高		9,619	—	104.1	102.4	9,244	—
売上総利益		1,775	18.5	94.5	98.1	1,879	20.3
営業利益		611	6.4	79.9	97.6	766	8.3
経常利益		601	6.3	82.7	98.2	727	7.9
四半期純利益		378	3.9	89.6	100.7	422	4.6
1株当たり 四半期純利益	円	12,004.36	—	89.6	—	13,397.91	—
株主資本当期純利益率 (ROE)	%	10.5	—	—	—	12.9	—

2. 事業別の状況【個別】（参考）

(単位:百万円, %)

		2008年3月期第3四半期			2007年3月期第3四半期		
			※比率	前年比	計画比		※比率
アウトソーシング事業	売上高	3,794	39.5	83.2	101.7	4,561	49.4
	売上総利益	874	23.0	81.7	101.0	1,069	23.5
ソリューション事業	売上高	2,215	23.0	104.7	86.0	2,116	22.9
	売上総利益	422	19.1	98.9	84.0	427	20.2
プロダクト事業	売上高	1,009	10.5	99.3	90.6	1,016	11.0
	売上総利益	326	32.4	282.5	99.3	115	11.4
ハードウェア販売サービス事業	売上高	1,809	18.8	189.7	137.5	954	10.3
	売上総利益	59	3.3	59.5	177.6	100	10.5
その他事業	売上高	789	8.2	132.7	121.0	595	6.4
	売上総利益	91	11.7	55.4	116.6	166	27.9

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益は利益率を表示しております。

業績予想

セグメント間では増減が発生しているものの、営業利益、経常利益、当期純利益については業績予想値に変更はございません。

1. 業績予想(2008年3月期)【連結】

(単位:百万円, %)

	通期予想			11月8日発表 通期予想			③= ①-② 増減額	③/② 増減率
	①	売上比	前年比	②	売上比	前年比		
売上高	13,300	—	108.8	13,300	—	108.8	—	—
売上総利益	2,377	17.9	97.0	2,463	18.5	100.5	△85	△3.5
営業利益	775	5.8	82.4	775	5.8	82.4	—	—
経常利益	740	5.6	84.5	740	5.6	84.5	—	—
当期純利益	420	3.2	90.6	420	3.2	90.6	—	—

◆1株当たり当期純利益(通期)

2008年3月期予想 13,333.33円

2007年3月期実績 14,718.30円

◆1株当たり配当金

2008年3月期予想 普通配当 3,600円

2007年3月期実績 普通配当 3,600円

2. セグメント別の予想【連結】

(単位:百万円, %)		通期予想			11月8日発表通期予想			③= ①-② 増減額	③/② 増減率
		①	比率	前年比	②	比率	前年比		
アウトソーシング 事業	売上高	5,008	37.7	84.2	4,918	37.0	82.6	90	1.8
	売上総利益	1,145	22.9	81.1	1,091	22.2	77.3	54	5.0
	営業利益	834	16.7	78.4	785	16.0	73.8	48	6.2
ソリューション 事業	売上高	3,160	23.8	107.5	3,690	27.7	125.5	△530	△14.4
	売上総利益	578	18.3	96.2	723	19.6	120.3	△145	△20.1
	営業利益	352	11.2	85.1	462	12.5	111.6	△109	△23.7
プロダクト事業	売上高	1,350	10.2	108.7	1,681	12.6	135.3	△331	△19.7
	売上総利益	443	32.8	512.9	490	29.2	567.8	△47	△9.7
	営業利益	267	19.8	—	301	17.9	—	△34	△11.3
ハードウェア 販売サービス 事業	売上高	2,789	21.0	220.7	2,150	16.2	170.1	639	29.7
	売上総利益	80	2.9	68.7	54	2.5	46.8	25	46.7
	営業利益	△31	—	—	△36	—	—	4	—
その他事業	売上高	992	7.5	119.3	860	6.5	103.4	132	15.3
	売上総利益	131	13.2	55.7	104	12.1	44.3	26	25.7
	営業利益	71	7.2	34.4	51	5.9	24.6	20	39.7

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

3. 業績予想(2008年3月期)【個別】 (参考)

(単位:百万円, %)

	通期予想			11月8日発表 通期予想			③= ①-② 増減額	③/② 増減率
	①	売上比	前年比	②	売上比	前年比		
売上高	13,300	—	108.8	13,300	—	108.8	—	—
売上総利益	2,383	17.9	97.1	2,464	18.5	100.5	△81	△3.3
営業利益	805	6.1	84.3	805	6.1	84.3	—	—
経常利益	770	5.8	86.5	770	5.8	86.5	—	—
当期純利益	445	3.3	93.3	445	3.3	93.3	—	—

◆1株当たり当期純利益(通期)

2008年3月期予想 14,126.98円

2007年3月期実績 15,136.23円

◆1株当たり配当金

2008年3月期予想 普通配当 3,600円

2007年3月期実績 普通配当 3,600円

4. 事業別の予想【個別】（参考）

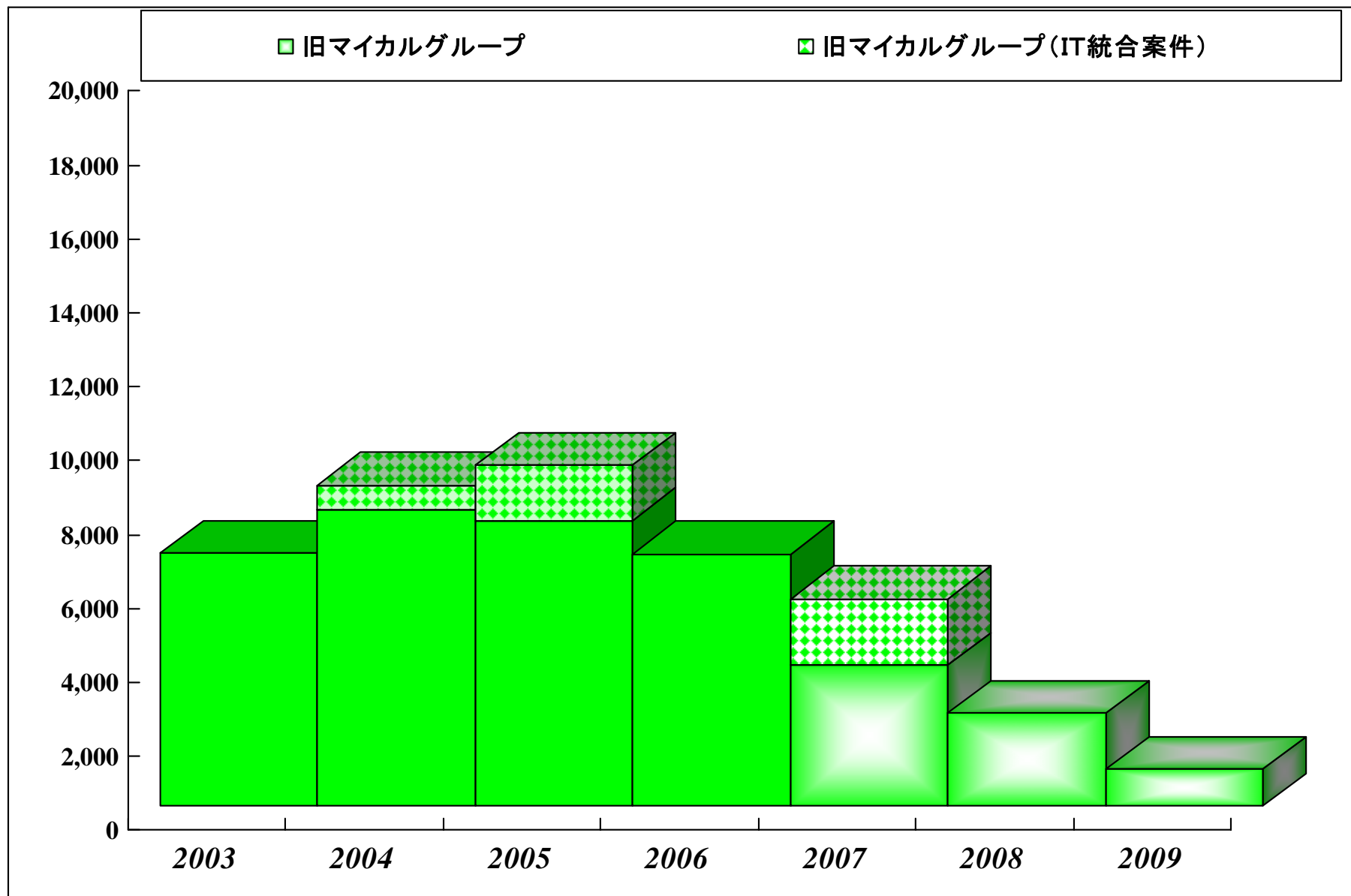
(単位:百万円, %)

		通期予想			11月8日発表通期予想			③= ①-② 増減額	③/② 増減率
		①	比率	前年比	②	比率	前年比		
アウトソーシング 事業	売上高	5,010	37.7	84.2	4,920	37.0	82.7	90	1.8
	売上総利益	1,147	22.9	81.1	1,092	22.2	77.3	54	5.0
ソリューション 事業	売上高	3,160	23.8	107.5	3,690	27.7	125.5	△530	△14.4
	売上総利益	578	18.3	96.2	723	19.6	120.3	△145	△20.1
プロダクト事業	売上高	1,349	10.1	108.7	1,680	12.6	135.4	△331	△19.7
	売上総利益	447	33.1	513.1	490	29.2	562.9	△43	△8.9
ハードウェア 販売サービス 事業	売上高	2,789	21.0	220.7	2,150	16.2	170.1	639	29.7
	売上総利益	80	2.9	68.7	54	2.5	46.8	25	46.7
その他事業	売上高	992	7.5	119.3	860	6.5	103.4	132	15.3
	売上総利益	131	13.2	55.7	104	12.1	44.3	26	25.7

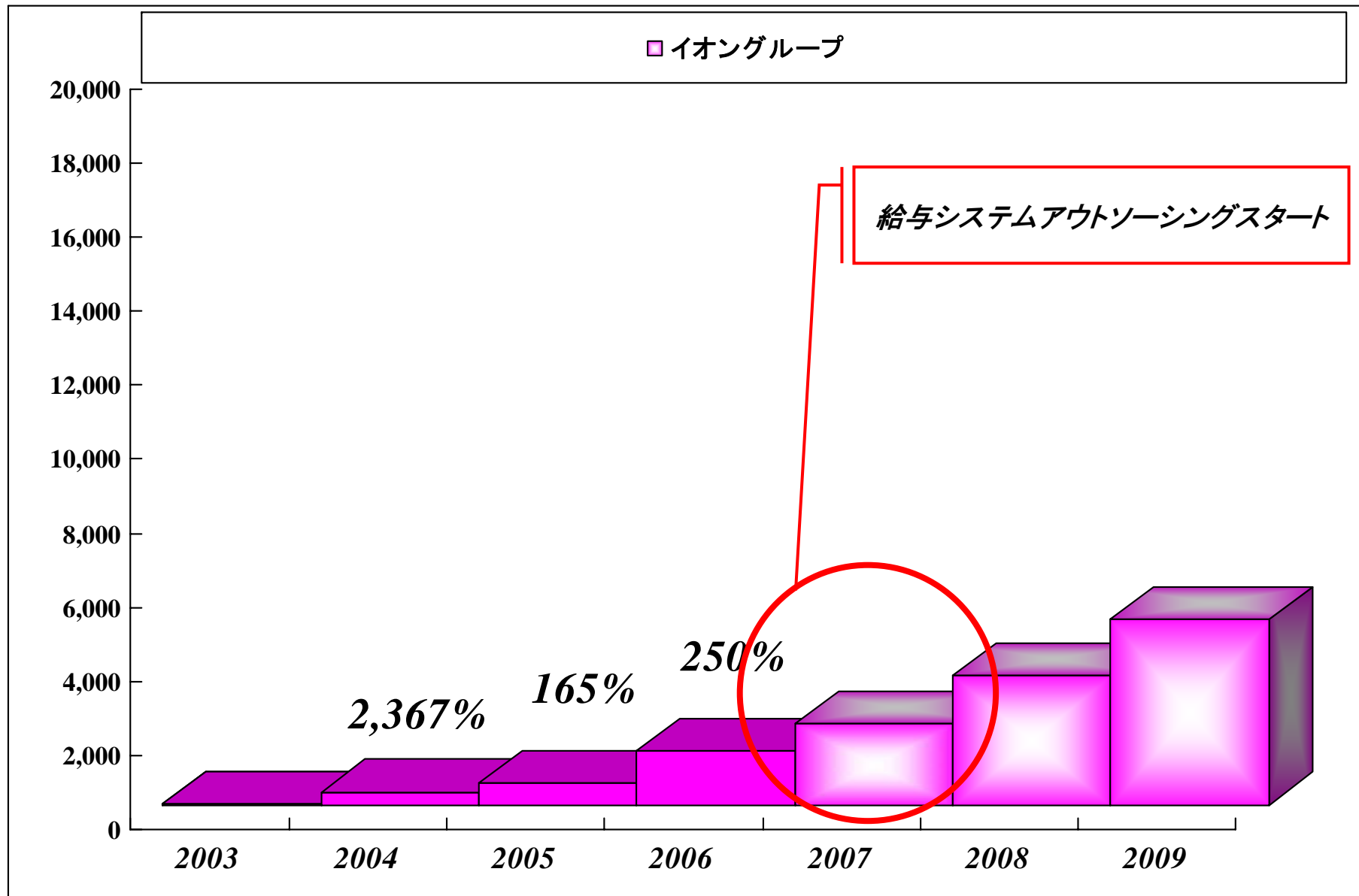
※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益は利益率を表示しております。

今後の事業展開について

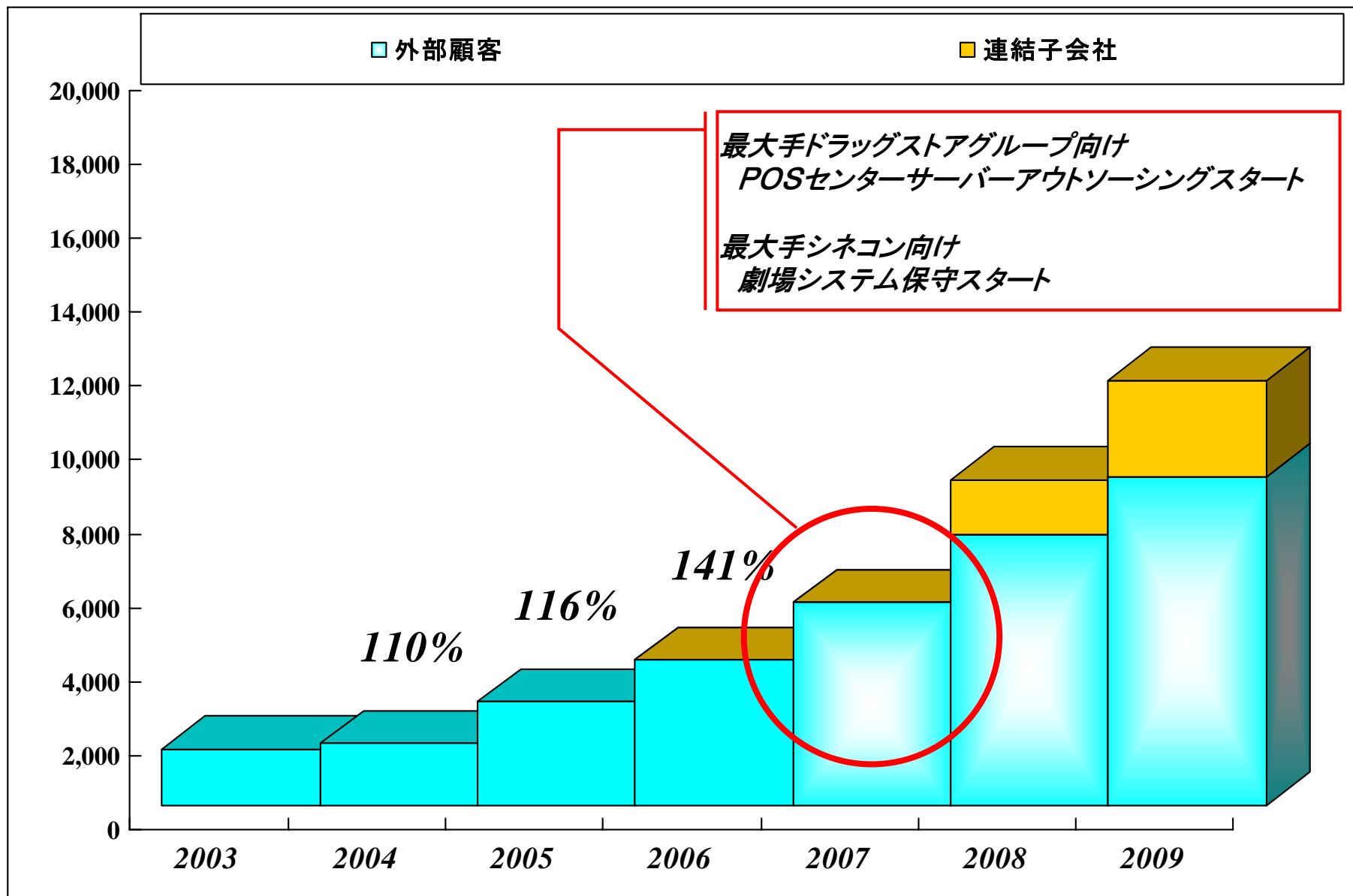
1. 事業(市場)構造の変革への対応(旧マイカルグループ)



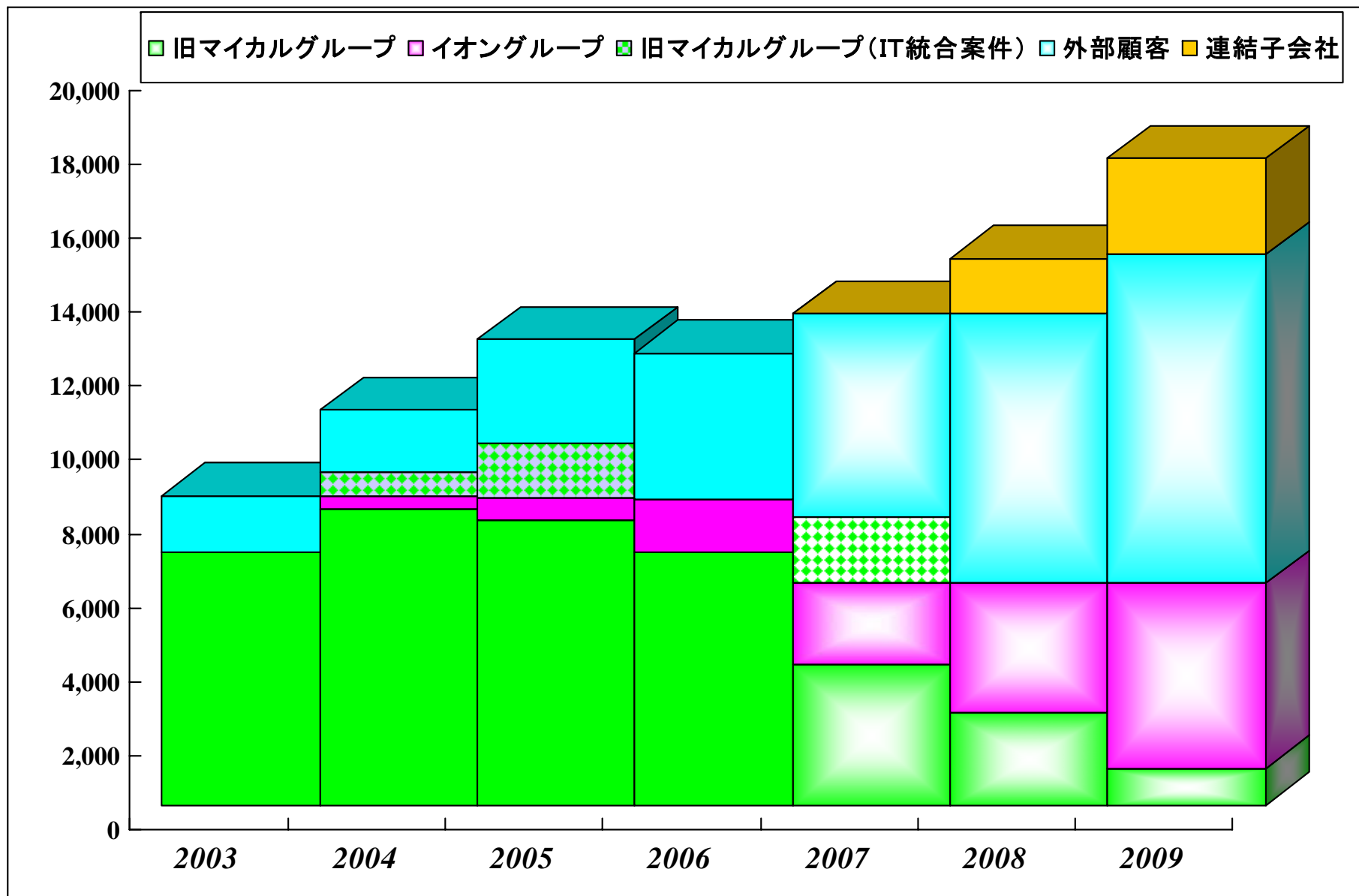
2. 事業(市場)構造の変革への対応(イオングループ)



3. 事業(市場)構造の変革への対応(新規市場)



4. 事業(市場)構造の変革への対応

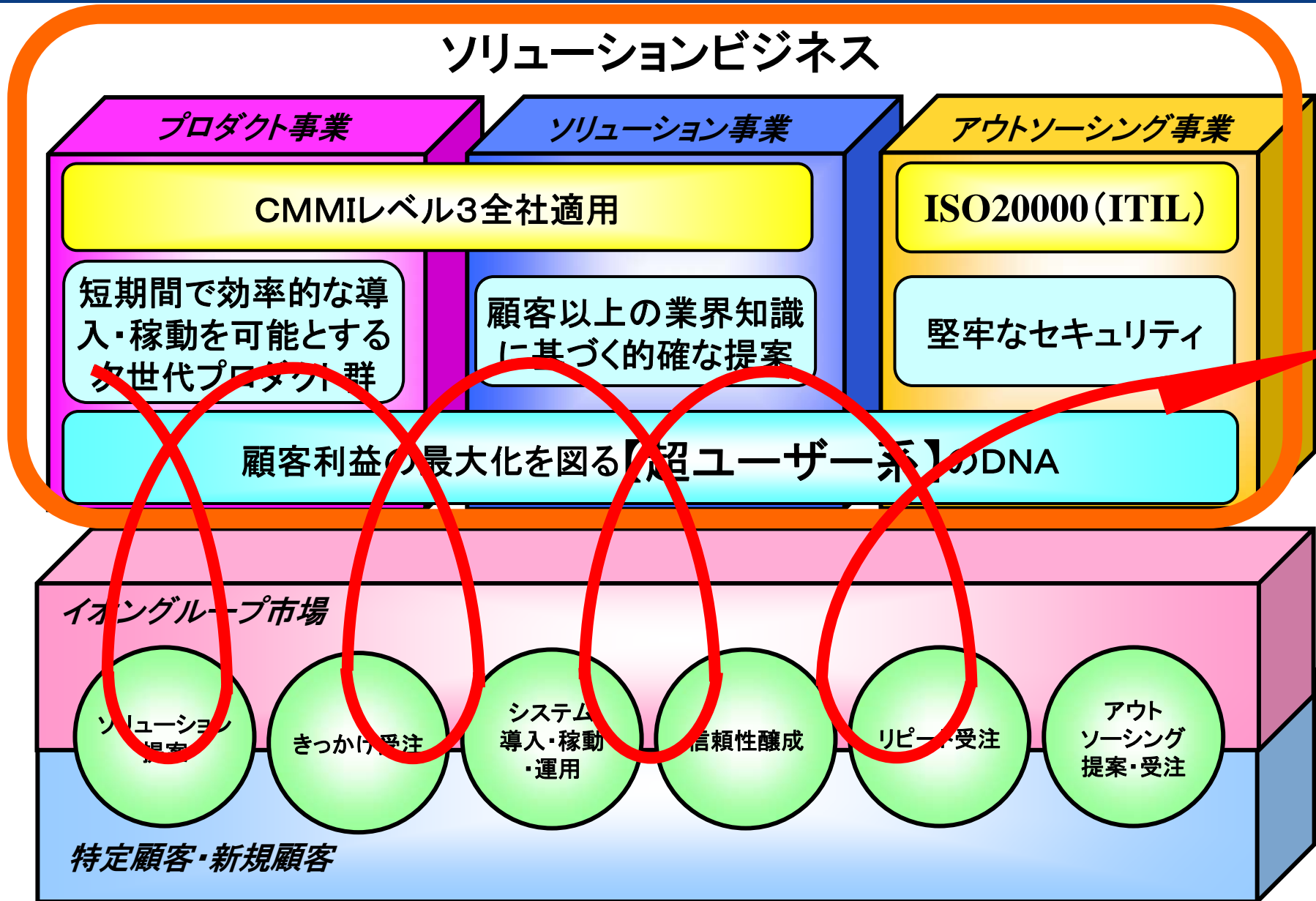


5. 経営課題

収益構造の変革

- ① プロダクトビジネスの安定的な高収益ビジネスモデルへの変革
 - ② 不採算プロジェクトの撲滅
 - ③ 開発・運用における生産性と品質の向上
 - ④ 受注活動期間の短縮
- (営業構造改革:ソリューションとの連携強化)

6. 事業構造



本資料お取り扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

ヴィンキュラム ジャパン株式会社
管理部 財務IRグループ
e-mail : ir@mail.vinculum-japan.co.jp